《 専門職コーナー　渡邉孝臣 》

～ 真夏でもジャケット姿の漢(おとこ) ～

三年

『石の上にも三年…』
渡邊職員がショートステイ担当になってから、五年。

真夏でも戦闘服のジャケットを纏い（実は寒がりなだけらしい…）、
持ち前の『粘り強さ』を発揮して、地域のショートステイの需要に
応えようと奮闘しています。

ご家族からのヒアリング、入退所のスケジュール管理、現場との調整、
入居者様の状況確認などなど…

「利用される方はもとより、ご家族にも安心感を」を〝モットー〟に
心を込めて、ご案内に努めています。

いつなんどきの事態に備え、非常食のスティックパンを
デスクの引き出しに忍ばせているとか、いないとか…

五年

そんな渡邉職員。
「モノクロの古い邦画にも、世界的に評価の高いものが
たくさん存在するんですよぉ」と、昔の名作映画を鑑賞する
自宅時間に癒されているようです。

気軽に映画館に足を運べない昨今、映画好きな方は、是非とも
渡邉職員と〝映画トーク〟に花を咲かせてみてみませんか(^^♪

新型コロナウイルス感染症禍における様々な自粛へのご協力に感謝いたします。
ハトホームでは、不特定多数の外部との交流は自粛しておりますが、
施設の中はできうる限り「変わらぬ生活」を送っていただいております。
コロナウイルス感染症への対策が確立するまでの間、今暫くのご協力をお願いします。

《発行》　社会福祉法人　村山苑
特別養護老人ホーム　ハトホーム
発行責任者　畠山千春
《編集》　ハトホーム　広報委員会
〒１８９－００２４　東村山市富士見町２丁目７番５号
TEL　０４２－３９３－７５７４
https://www.murayamaen.or.jp/hatohome/
2021 年１月末日　発行

※写真・作品は、個人情報保護法に基づき、本人承諾のうえ掲載しています。

お知らせコーナーも
随時更新しています。
ぜひご覧ください。

FREE　ご自由にお持ちください。

村山苑

表　紙：「新人職員紹介」
見開き：「素顔」　「気づきのかけら」
　　「福祉サービス研究研修発表」
裏　面：「真夏もジャケット姿の漢」

新人職員　紹介コーナ

嬉しいことに、ここ半年の間で
ハトホームに多くの職員を迎える事ができました。

【 ３階　介護職員　小堀 秀樹 】

介護の仕事の魅力は、人の幸せに貢献する事であると思っています。
別の業界から介護業界に転職しましたが、わたし自身、その魅力に誇りと自信を持てるよう、職務を全うしていきたいと考えています。
新型ウィルスの影響もあり、働き方や暮らし方が変わり始めた今、医療や介護で働く人達へ求められるものも多くなっているように感じます。自分の価値観や常識に縛られず、柔軟な思考を持って、日々努力し、明日への成長に繋げていきたいと思います。

【 ２階 介護職員　大澤 誠 】

前職のデイサービスで初めて介護の業界を経験し、今回縁あって入職しました。
生まれも育ちも東村山。馴染み深い地元で、仕事を通じて貢献できる事を嬉しく思っています。
特養に従事するのは初めてですが、日々学習し、多くの知識や経験を積み重ね、頼られる存在になっていきたいです。
「ありがとう」を大切にし、〝人間愛〟に富んだ職員になりたいと思っています。
実現のために、日々笑顔で、前向きに頑張ります。

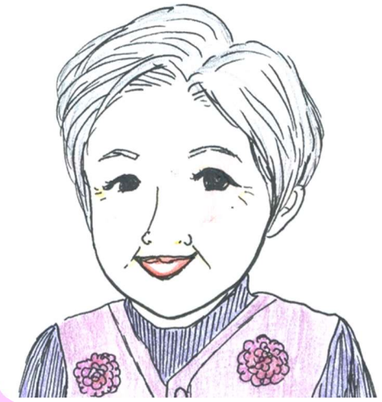
「入居者さんの素顔」

「もう済んでるんでしょ!?」

せっかち気味なヤス子さん、暇を持て余すのが大の苦手。
今朝も洗濯室の前でエプロンの〝**仕上がり**〟待ちです。
「体調と相談しながらね」とお伝えしていても、ついつい頑張ってしまう働き者。
玄人はだしの鮮やかな手つきで、テキパキとあっという間に干し終わる早業です。

長年お勤めしていた〝揚げたてコロッケ〟が絶品のお肉屋さん。
自転車で配達していた頃も、コロッケの〝**仕揚がり**〟を急かしていたのかしら？

一番の気分転換はお散歩。お気に入りスポットは１階の自動販売機。コーヒーを買うのが日課です。
今は自粛中ですが、はやく自由に買いに行けるようになるとよいですね。



「美容室でするからいいわ」

いつものやんわり口調が返ってきます。
穏やかなお姿からは想像も及びませんが、実は、波乱万丈な人生経験の持ち主だとか……。

華やかな社交の世界で活躍されていた若かりし頃、
きっちりとしたドレスアップには相応のヘアスタイル!!

うん うん！
納得ですぅ!!

壮年期には、飲食店など、いくつもの経営をなさっていた“**やり手実業家**”

人一倍パワフルに働いてきた ひしゃこさん。
編み物をしながらマイペースにお過ごしの今、ちょうどバランスがとれているのでしょうか。

「気づきのかけら」～ ポジティブシートからみえてきたこと ～

ややもすると「悪い面」ばかり大袈裟に取り上げられるのが世の常。
放っておくと、陰口や好ましからぬ噂話が跳梁跋扈する
〝**ダメダメな雰囲気**〟に……。

いつまでも、明るく前向きな職場であり続けたい。全職員参加で、ポジティブシートに取り組みました。

虐待防止委員会の呼びかけで始まった取り組み。
虐待防止につながる「模範的な素晴らしいエピソード」をシートに書き込みました。
集計したシートには、私の気がつかなかった、いろいろな人の様々な良い面が……。
数々のエピソードに「すごいなぁ」「見習わなくっちゃ」と思いを新たにしました。

虐待は犯罪です！　あれもこれも虐待に該当するのでダメです!!　とにかくダメ!!!

虐待防止の取り組みは「禁止事項の啓蒙」に偏りがちです。
もちろん知識は必要です。世の中には、無知による虐待事例もあまたあるようですから……。

加えて「互いの良い面に光を当てて、みんなで見習おう」といった前向きな姿勢もまた
虐待の芽を摘んでいく大きな力になるのかもしれない!?
数年ぶりに取り組んだポジティブシートがもたらしてくれた「気づきのかけら」
大切に共有していきたい想いです。

《 打破！もやもや閉塞感 》 ～ 福祉サービス研究研修発表 ～

「学びの風土を！」施設長の一声から始まった福祉サービス研究研修発表会。
業務に追われ埋没してしまいかねない〝気づき〟や〝課題〟に着目し、
分析 👉 改善策の考察 👉 仮説の立案 👉 実施　の過程をまとめ、発表しています。
ハトホーム発の学びの場。
現在は、法人全体に広がりを見せています。

直前の打ち合わせ
凹がマジです

世界中を席巻する新型コロナウイルス感染症。
重症化が心配される〝高齢者〟の集うハトホーム
衣・食・住的な生活に大きな影響はありませんが……
安全最優先を錦の御旗に、世間から隔絶された巣籠生活。
〝外出〟〝売店〟〝行事〟〝クラブ活動〟〝ボランティア〟
そして、何より楽しみにしている〝ご家族との面会〟も、いろいろと制限付きの状況……。

「私たちになにかできることはなかろうか？」

もやもや、イライラの閉塞感漂う状況を目の当たりに、巡らせた想いをテーマに込めました。

『 コロナ禍における ハトホームでの過ごし方 』

業務の隙間時間を見つけては取り組んだレクリエーション。
できることの限られた状況下で、より効果の高い気分転換につながる余暇活動とは？
エビデンスに基づく取り組みを織り交ぜながらも、思いつくがままに行った様々なレク活動中、
たくさんのはじける笑顔に囲まれた私たち。
「これからも続けていこう」背中を押してもらったような気持ちになりました。